



2008 今昔館展示模型



2007 西武庫園地リフォーム



2006 N氏の山荘建設



2004 琵琶湖別荘建設



2003 香住古民家移築



2002 大飯古民家移築



2000 朽木研修所離れ

美杉山荘 建設プロジェクト

大阪工業技術専門学校

テラス上屋ー基礎工事

屋外で雨に打たれるのはあまり気持ちの良いものではありません。工事期間中、山間部特有のにわか雨に何度も見舞われていますが、雨の日を楽しく過ごすためにも屋根のある空間は大切です。そのような理由から、この山荘の前面には建物と同じ幅の下屋が計画されていました。今回はその基礎工事。モノは小さくても、測量や水盛・遣り方などの仮設工事、掘削から型枠・配筋・コンクリート打設にブロック積みと、山荘本体と同様の工程が一式必要となります。2年生がリードしながら現場が進みました。



水盛・遣り方

下屋は既存の山荘に増築しますので、山荘に対して正確な直角線を求めることが必要となります。杭や貫に水系と呼ばれるカラフルな糸を張って、一定の高さに平面図を描く感じで慎重に作業します。この水系を頼りに、基礎の位置が決定しますので、誤差は最小限にしなければなりません。何度も検寸を繰り返しながら、2mm程度の誤差に納まりました。



風呂の移設から工事開始です。



掘削・砂利敷き
木の根に邪魔されながら所定の深さまで地面を掘ったら、7.8cmの厚さで砂利を敷きつめます。



転圧
“タコ”と呼ばれる手製の道具で、敷きつめた砂利を締め固めます。全ても荷重が伝わる部分です念入りに作業します。



型枠
基礎のベースの部分は鉄筋コンクリート製ですので、型枠を組みます。厚さ9cm、下屋には立派な基礎です。